

電気・電子科 電気工事コース

サイエンス

| | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-----|----|------|---|----|---------|-----|----|----|---|--|
| 対象 | 1年次 | 開講期 | 前期 | 区分 | 必 | 種別 | 講義 | 時間数 | 60 | 単位 | 4 | |
| 担当教員 | 長澤 正明 | | | 実務経験 | 有 | 職種 | 電気主任技術者 | | | | | |

授業概要

電気物理の基礎知識を身につけ、関連科目で学習する電気通信の工事担任者に関する科目の基礎知識を得る事、また、電気通信の工事担任者や第一種電気工事士の国家試験に必要な知識を得ることと目的とする。

到達目標

電気工事系の科目を学習するために必要な物理的な知識について学習し、様々な計算方法を習得、また、電気通信の工事担任者や第一種電気工事士の国家試験に必要な科目に対応する内容を理解し、国家試験科目を取得できるようになる事を目標とする。

授業方法

運動物理、電気物理を中心に学ぶ。特にこれらの科目では、計算問題ができるようになることが重要なので、授業中に演習を行うことによって、授業の内容を理解するとともに、計算問題ができるよう学習を進めていく。

成績評価方法

試験・課題：80%試験と課題を総合的に評価する。小テスト：10%授業内容の理解度を確認するために実施する。レポート：5%授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：5%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

履修上の注意

この授業では、電気工事士に関する工学系の科目を学習するために必要な物理的な知識について学習する。いろいろな計算の知識が必要なので、授業中に演習しながら計算方法を学習するが、自宅で計算の基礎を学ぶことも必要となる。このため必ず授業に出席する必要があり、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。

教科書教材

わかるAI・DD種全資格(基礎)

| 回数 | 授業計画 |
|-----|---------|
| 第1回 | 物理量の表し方 |
| 第2回 | 力学の基礎 |
| 第3回 | 運動の法則 |

| | |
|--------|-----------|
| 第 4 回 | 振動 |
| 第 5 回 | エネルギー |
| 第 6 回 | 物質構造 |
| 第 7 回 | クーロンの法則 |
| 第 8 回 | 導体と電荷 |
| 第 9 回 | 雷と接地 |
| 第 10 回 | 電位と電界 |
| 第 11 回 | 電気力線と電束 |
| 第 12 回 | コンデンサ |
| 第 13 回 | 静電容量 |
| 第 14 回 | 過渡現象 |
| 第 15 回 | 微分回路と積分回路 |

| | |
|------|----------|
| 第16回 | コンデンサの接続 |
| 第17回 | 電流による磁界 |
| 第18回 | 磁界の強さ |
| 第19回 | 電磁エネルギー |
| 第20回 | まとめ |